

54

【54期】NPO法人ドットジェイピー 活動報告書
2024 October — 2025 March

もくじ

●目次	P3
●団体概要	P4-5
 【インターシップ事業】	
●参加学生データ	P8
●学生意識調査	P9
●受入議員・機関・団体データ	P10
●受入議員・機関・団体一覧	P11-15
●協力大学一覧	P16
 【未来事業】	
●未来自治体全国大会2025	P18-22
●未来自治体	P23
●未来自治体リーダーシミュレーション	P24
 【その他の事業・実績】	
●メディア掲載実績	P26-27
●ご協賛企業一覧	P28
●書籍関連	P29

団体概要

団体概要

団体名称	特定非営利活動法人ドットジェイピー	創 業	1998年2月14日
通常表記	NPO法人ドットジェイピー	法人設立	2000年11月22日
英文表記	Dot-jp, Nonprofit Organization		

所在地

本 部	〒102-0082 東京都千代田区麹町2-10-2 プレミアムオフィス麹町304
エリア	●北海道エリア ●宮城エリア ●山形エリア ●福島エリア ●栃木エリア ●東京エリア ●神奈川エリア ●新潟エリア ●福井エリア ●愛知エリア ●三重エリア ●関西エリア ●岡山エリア ●広島エリア ●香川エリア ●福岡エリア ●大分エリア ●長崎エリア ●熊本エリア ●宮崎エリア ●鹿児島エリア ●沖縄エリア

事業内容

1. インターンシップ・コーディネート事業
2. 地域活性化に関する諸フォーラム・セミナーの開催
3. 広報事業

目的

- ・大学生を主とした不特定多数の人に、衆議院議員、参議院議員並びに地方公共団体の議会の議員及び長（以下「議員」という。）、特定非営利活動法人など各種団体、行政機関および駐日外国公館などの公的団体のもとでのインターンシップを通じて実務研修を行わせ、もって社会学習の機会を付与し、社会教育の推進を図ること。
- ・国民の社会に対する興味を喚起し、もって議員選挙の投票率の向上を図ること。

前記の目的を達成するため、以下の種類の特定非営利活動を行う。

1. 社会教育の推進を図る活動
2. 情報化社会の発展を図る活動

「私もできる」を、私達がつくる。

思い込みでも、勘違いでもいい。この国を、世の中を、もっとよくしたい、その気持ちと行動さえあれば、誰だって世界を変える立役者になれる。

だから、ドットジェイピーはつくりたい。

各界のスペシャリストや仲間とつながることで、「私もできる」と思える、たくさんの瞬間を。

そして、あなたが世の中の課題を改善へと導く未来を。

期待してほしい、想像を超えていく自分に。

団体概要

代表者

佐藤 大吾(理事長)

役 員

役 員	理事 佐藤 大吾 (理事長) 理事 水谷 正美 (副理事長) 理事 村崎 浩史 理事 松永 英也 (事務局長兼任) 理事 木村 亮 監事 名和 道紀 (公認会計士・名和会計事務所)		山田 拓 佐藤 翔太 大川 真司 大竹 祐登 大井 健史 伏見 晃一 中山 智貴 儘田 秋水 大濱 暢祐 黒岩 大輝 前田 一帆 川原 功也 小山 智加 児玉 峻太郎 山野 裕聖 津端 莉那 林田 光生 佐多 陽花
事務局長	松永 英也		
事業局長	石原田 拓郎		
評議員	石田 芳弘 (至学館コミュニケーション研究所 客員教授) 後 房雄 (愛知大学地域政策学部 教授) 倉田 薫 (関西大倉学園 理事長) 河内山 哲朗 (一般社団法人 日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 代表理事) 竹下 譲 (自治体議会政策学会 会長) 橋本 大二郎 (テレビ番組キャスター) 穂坂 邦夫 (NPO法人地方自立政策研究所 理事長) 山内 直人 (大阪大学国際公共政策研究科 教授)	キャピ ネット	
特別顧問	与良 正男 (政治ジャーナリスト/毎日新聞専門編集委員)		
顧問	松野 豊 (一般社団法人障がい者ワークスタイル研究所 代表理事) 友田 景 (株式会社ビズデザイン大阪 代表取締役) 本田 勝裕 (キャリアソリューションスト) 吉山 勇樹 (株式会社ハイブリットコンサルティング 代表取締役CEO)		

学生スタッフ

北海道、宮城、山形、福島、栃木、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、新潟、石川、福井、関西、岡山、広島、香川、福岡、北九州、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄、25エリア合計で、約500名。

※()内は、2025年3月31日現在のものです。

ソーシャル・インターンシップ

●『明日を考える。自分を考える』 ～議員・首長インターンシップ

みんなにとって幸せな明日を。政治はそんな思いからできている。

そう、政治は特別なものではなく、すべて自分の明日につながっている。

それだけに、日々これから思い巡らせる、議員たちの熱量を体感して得るものは大きい。

自分と社会とのつながりを身をもって知る。明日のことを人まかせにしない、

考えた先に、新しい行動や挑戦が生まれる。

●『問いかける、「世界ではどうか」。』 ～大使館・国際機関インターンシップ

その答えが、正解だとは限らない。「世界から見た日本」を意識したとき、

思いもしなかった答えにたどり着く。国が変われば、視点や価値も変わる。

だからこそ、世界の人々とつながり、リアルに、各国の文化や社会にふれることで、

あらためて気づかされる日本がある。

「世界ではどうか」自問するたびに、目の前の可能性も、自分の視界も広がっていく。

●『知ることから、世の中は動き出す。』 ～NPO・NGOインターンシップ

紛争、子どもの貧困、地域格差……なぜそれらの問題は起きるのか。

理解しようとすることから、社会を変える行動がはじまる。

NPOでの経験は、自分にだって、できることがあるという手応えをもたらし、

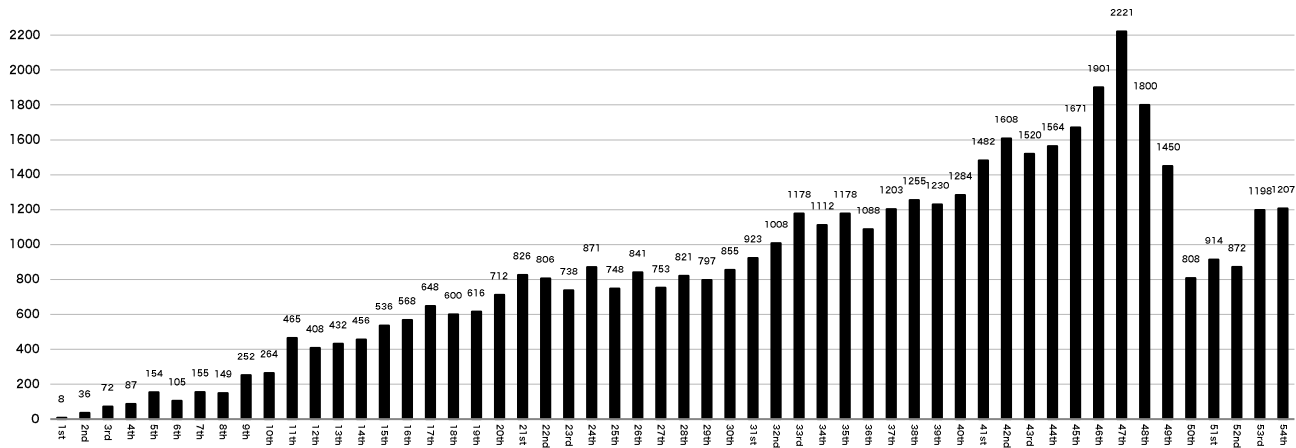
行動への背中を押す。

自分が動き出すことで、世の中は動き出す。

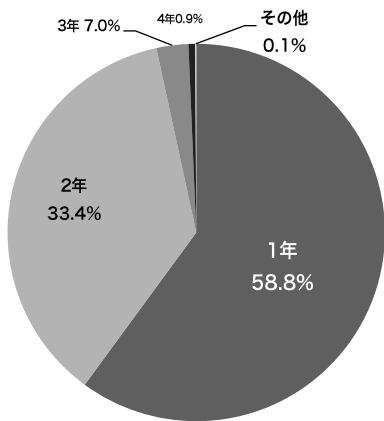
参加学生データ

第54期 参加学生数：1207名

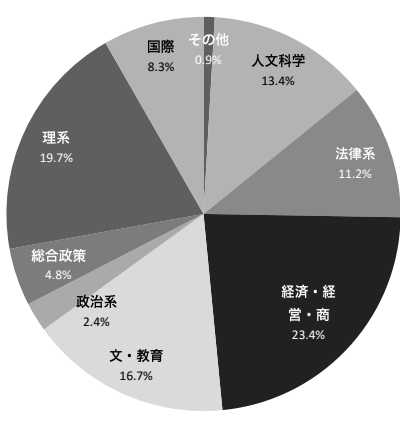
参加学生数推移



学年別参加割合



学部別参加割合



【累計】 参加学生数上位大学 * ()内の数字は、過去累計のインターンシップ参加者数

総合

関西学院(1869) / 立命館(1828) / 同志社(1706) / 東北学院(1280) / 明治(1239) / 慶應義塾(1232) / 熊本県立(1146) / 中央(1055) / 南山(1036) / 北海学園(1025) / 早稲田(891) / 九州(851) / 筑波(831) / 関西(818) / 福島(814) / 広島(763) / 山形(761)

エリア別

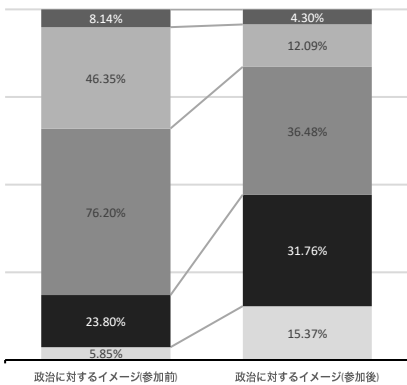
【北海道】 北海学園(1025)/北海道(411)/小樽商科(177)/北星学園(157)
【東北】 東北学院(1280)/福島(814)/山形(761)/東北(462)/東北福祉(325)
【関東】 慶應義塾(1232)/明治(1239)/中央(1055)/早稲田(891)/筑波(831)
【北陸】 新潟(84)/金沢(37)/福井(30)/福井県立(11)
【東海】 南山(1036)/三重(747)/中京(432)/名古屋(372)/名城(128)
【関西】 関西学院(1869)/立命館(1828)/同志社(1706)/関西(818)
【中国・四国】 広島(763)/岡山(466)/香川(324)/広島修道(268)
【九州】 熊本県立(1146)/九州(851)/熊本学園(620)/北九州市立(594)

※総合の参加者数には複数支部でのインターン参加者も含むため、支部別の参加者数との間にずれがある場合がございます。

学生意識調査

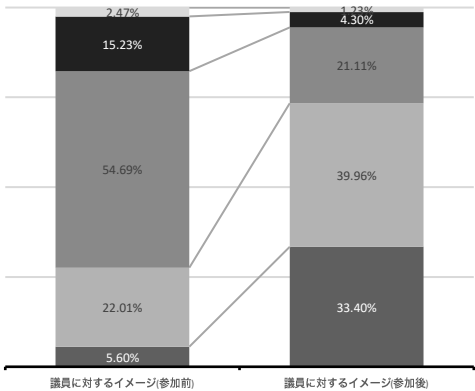
政治に対するイメージ

インターンシップ参加前は、「良い」「どちらかといえば良い」合計が29.65%だが、インターンシップ参加後は47.13%に。
※有効回答人数：740



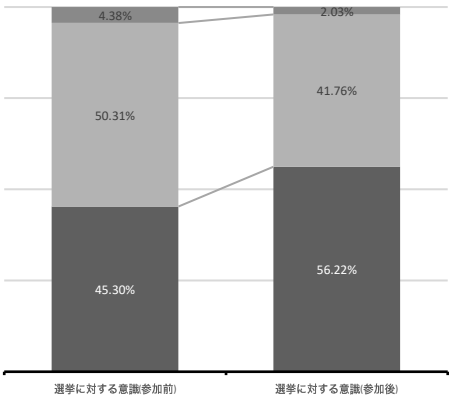
議員に対するイメージ

インターンシップ参加前は、「良い」「どちらかといえば良い」合計が27.61%だが、インターンシップ参加後には73.36%に。
※有効回答人数：740



選挙に対する意識

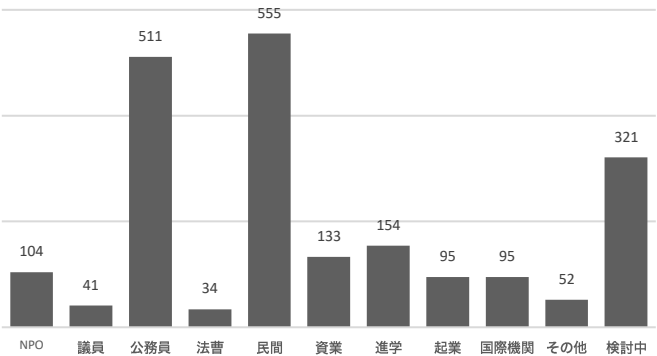
インターンシップ参加前は「必ず選挙に行く」の比率が45.30%だが、インターンシップ後は56.22%に。
インターンシップを通じて学生の選挙に対する意識が向上している。
※有効回答人数：740



希望進路

- 1.NPO・NGO
- 2.議員
- 3.公務員
- 4.法曹関係（弁護士・検察官・裁判官）
- 5.民間企業勤務
- 6.資格業（医師・税理士など）
- 7.進学・研究者
- 8.起業
- 9.国際機関（国連など）勤務
- 10.その他
- 11.まだ考えられてない(検討中)

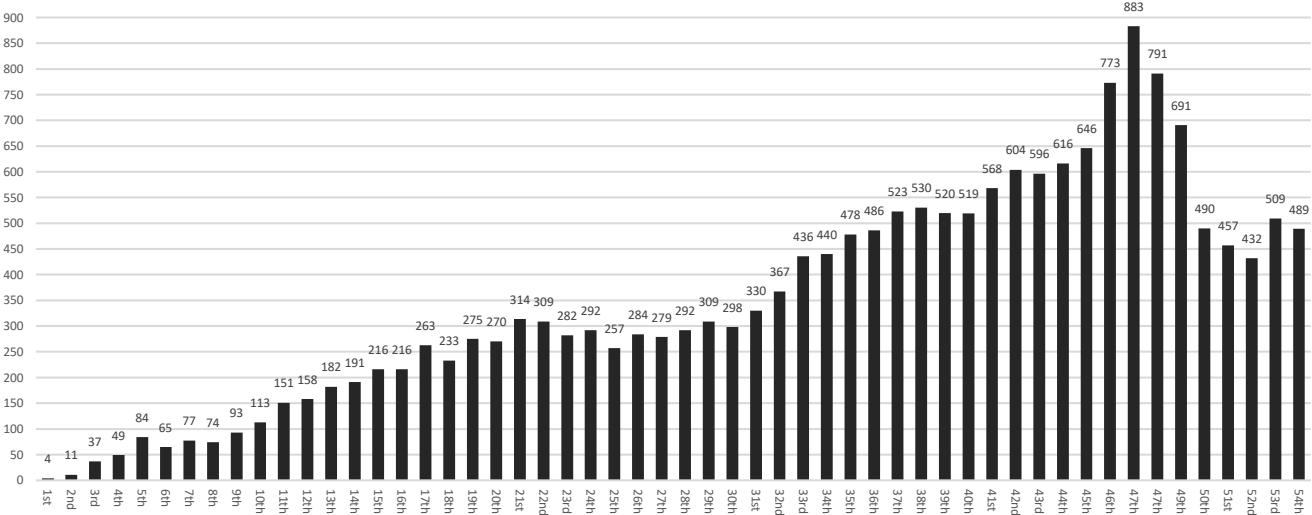
※有効回答数：2095回答（複数回答）



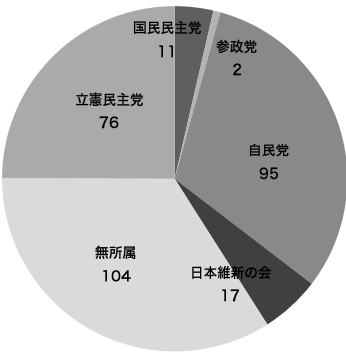
受入議員・機関・団体データ

第54期 受入議員・機関・団体数：489クライアント

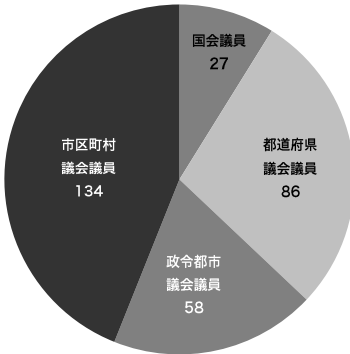
受入議員・機関・団体数推移



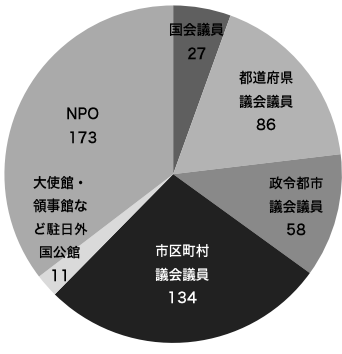
政党別受入議員数（当期）



区分別受入議員数（当期）



区分別全体受入数（当期）



首長インターンシッププログラム一覧

ドットジェイピーでは、議員インターンシッププログラムの運営で蓄積したノウハウを生かし、議員事務所だけでなく、知事や市長、地方自治体などの業務を理解するための体験プログラムを提供しております。

過去実施首長・自治体一覧(敬称略)

梶原拓(岐阜県知事) / 橋本大二郎(高知県知事) / 石田芳弘(愛知県犬山市長) / 佐護彰(愛知県日進市長) / 門川大作(京都府京都市長)
倉田薫(大阪府池田市長) / 田中誠太(大阪府八尾市長) / 北口寛人(兵庫県明石市長) / 白井文(兵庫県尼崎市長)
藪本吉秀(兵庫県三木市長) / 河内山哲朗(山口県柳井市長) / 幸山政史(熊本県熊本市長) / 成澤廣修(東京都文京区長)
山田宏(東京都杉並区長) / 井崎義治(千葉県流山市長) / 中村法道(長崎県知事) / 松崎秀樹(千葉県浦安市長)
藤井浩人(岐阜県美濃加茂市長) / 小笠原春一(北海道登別市長) / 菅原章嗣(北海道喜茂別町長) / 熊谷俊人(千葉県千葉市長)
小泉一成(千葉県成田市長) / 武廣勇平(佐賀県上峰町長) / 大石正行(北海道鶴居村長) / 徳永哲雄(北海道弟子屈町長)
照井誉之介(北海道江差町長) / 宮谷内留雄(北海道蘭越町長) / 山本進(北海道東神楽町長) / 松岡市郎(北海道東川町長)
谷一之(北海道下川町長) / 松岡隼人(熊本県人吉市長) / 秋葉就一(千葉県八千代市長) / 川上満(北海道平取町長)
神達岳志(茨城県常総市長) / 崎田恭平(宮崎県日南市長) / 南出賢一(大阪府泉大津市長) / 越田謙治郎(兵庫県川西市長)
佐藤弥斗(神奈川県座間市長) / 石丸伸二(広島県安芸高田市長) / 大野もとひろ(埼玉県知事) / 本村賢太郎(神奈川県相模原市長)
樋口高顕(東京都千代田区長) / 永山由高(鹿児島県日置市長) / 上野俊市(鹿児島県さつま町)

※()内は受入当時のものです。

54期全国受入議員・機関・団体一覧①

※()内は受入当時のもの

北海道	都道府県議会	池端英昭(無所属) / 武田浩光(立憲民主党) / 洲上綾子(立憲民主党) / 松山丈史(立憲民主党)
	指定都市議会	五十嵐徳美(自民党) / 漆原直子(立憲民主党) / 恩村健太郎(立憲民主党) / 川田匡桐(自民党) / 北村光一郎(自民党) / 小竹ともこ(自民党) / 篠田江里子(立憲民主党) / 中川賢一(自民党) / 波田大専(日本維新の会) / 三神英彦(自民党) / 山田洋聡(自民党)
	市区町村議会	岡英彦(無所属) / 柏野大介(無所属) / 千葉一幸(自民党)
	NPO団体	特定非営利活動法人CAN / 特定非営利活動法人ezorock / 特定非営利活動法人おーるまいてい / 特定非営利活動法人地域子育てネットすくさぽ / 特定非営利活動法人手と手 / 特定非営利活動法人はる / 特定非営利活動法人フードバンク イコロさつぱろ / 特定非営利活動法人北海道NPO団体サポートセンター / 特定非営利活動法人北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会
宮城	都道府県議会	遠藤隼人(自民党) / 柚木貴光(自民党)
	指定都市議会	佐々木心(自民党) / 貞宗けんじ(立憲民主党) / 鈴木すみえ(立憲民主党) / 内藤良介(自民党)
	市区町村議会	小玉仁志(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人COLLAWAKE / 特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク / 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ / 特定非営利活動法人メディアージ / 認定特定非営利活動法人Switch
山形	都道府県議会	伊藤香織(自民党) / 齋藤俊一郎(国民民主党)
	市区町村議会	秋葉晶子(無所属) / 荒井拓也(立憲民主党) / 竹田正樹(無所属) / 鳥海隆太(無所属) / 長澤愛(立憲民主党) / 古山悠生(無所属) / 渡部秀樹(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人赤とんぼ / 特定非営利活動法人あゆみやまびこ共に育つ会 / 特定非営利活動法人学童保育所しゃぼん玉クラブ / 特定非営利活動法人から・ころセンター / 特定非営利活動法人ひなぎくアルファ 十日町事務所
福島	都道府県議会	佐藤徹哉(自民党) / 佐藤義憲(自民党) / 先崎温容(自民党)
	市区町村議会	浦野洋太郎(無所属) / 大城宏之(無所属) / 菅野喜明(無所属) / 根本雅昭(自民党) / 佐藤真也(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人VIDA / 特定非営利活動法人青空保育たけの子 / 特定非営利活動法人オハナ・おうえんじゃー / 特定非営利活動法人すかがわ子育てネットワークTUNAGU / 特定非営利活動法人スケッチブック / 特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・福島 / 特定非営利活動法人宙(そら)の仲間たち / 特定非営利活動法人寺子屋方丈舎 会津 / 特定非営利活動法人寺子屋方丈舎 郡山 / 特定非営利活動法人ビーンズふくしま / 特定非営利活動法人広野みかんクラブ / 特定非営利活動法人わくわく / 認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会
栃木	国会	藤岡隆雄(立憲民主党)
	市区町村議会	荻部勉(無所属) / 栗原収(自民党) / 萩谷慎一(立憲民主党) / 長谷川武士(自民党) / 早川貴光(立憲民主党) / 横須賀咲紀(立憲民主党) / 綿引健(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人グラウンドワーク笠間 / 特定非営利活動法人たまり場ぼぼ / 特定非営利活動法人フードバンク茨城 水戸支部 / 特定非営利活動法人未来ネットワークひたちなか・ま / 認定特定非営利活動法人水戸子どもの劇場

54期全国受入議員・機関・団体一覧②

※()内は受入当時のもの

東京	国会	安藤じゅん子(立憲民主党) / 大島敦(立憲民主党) / 落合貴之(立憲民主党) / 櫻井周(立憲民主党) / 城井崇(立憲民主党) / 末松義規(立憲民主党) / 辻清人(自民党) / 手塚仁雄(立憲民主党) / 中谷一馬(立憲民主党) / 萩生田光一(自民党) / 三角創太(立憲民主党) / 森田俊和(立憲民主党)
	都道府県議会	風間ゆたか(立憲民主党) / 漢人あきこ(無所属) / 小山有彦(自民党) / 菅原直志(無所属) / 鈴木烈(立憲民主党) / 関口健太郎(立憲民主党) / 関根ジロー(立憲民主党) / 竹井ようこ(立憲民主党) / 成清梨沙子(無所属) / 浜中のりかた(自民党) / 宮瀬英治(立憲民主党)
	市区町村議会	青柳雅之(立憲民主党) / 赤江なつ(立憲民主党) / 石坂わたる(無所属) / 石飛香織(無所属) / 上田由紀子(無所属) / 榎本あゆみ(国民民主党) / 岡田勇一郎(自民党) / 門脇翔平(立憲民主党) / 金井ひろし(立憲民主党) / 神山玄太(無所属) / 久家繁(立憲民主党) / 佐藤正幸(自民党) / 鈴木綾子(無所属) / 高橋元気(無所属) / 高橋まきこ(無所属) / 富田健嗣(立憲民主党) / 中村豪志(自民党) / 中村延子(立憲民主党) / 橋本祥平(立憲民主党) / 花澤昭信(無所属) / 原田竜馬(立憲民主党) / 藤井まな(立憲民主党) / 藤條たかゆき(日本維新の会) / 松本光博(日本維新の会) / 木目田英男(自民党) / 森本せいや(無所属) / 有里真穂(無所属)
	NPO団体	一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク / 公益財団法人オイスカ / 特定非営利活動法人CMC / 特定非営利活動法人ICA文化事業協会 / 特定非営利活動法人JFCネットワーク / 特定非営利活動法人LOOB JAPAN / 特定非営利活動法人NICE (日本国際ワークキャンプセンター) / 特定非営利活動法人オンザロード東京事務局 / 特定非営利活動法人環境持続社会研究センター JACES / 特定非営利活動法人こどもの木 / 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会 / 特定非営利活動法人東京コミュニティスクール / 特定非営利活動法人ブリッジエシアジャパン / 認定特定非営利活動法人JUON NETWORK / 認定特定非営利活動法人エンパワメントかながわ / 認定特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド / 認定特定非営利活動法人世界の子どもにワクチンを 日本委員会 / 認定特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN
	グローバル	コソボ共和国大使館 / コロンビア大使館 通商部 / 在日イタリア商工会議所 / 在日ポーランド商工会議所 / スペイン大使館 / 駐日エルサルバドル共和国大使館 / 日本アゼルバイジャン商工会議所 / ベネズエラ・ボリバル共和国大使館 / メキシコ合衆国大使館 / モナコ政府観光会議局 日本事務所
神奈川	国会	早稲田ゆき(立憲民主党)
	都道府県議会	川崎修平(自民党) / 菅原暉人(立憲民主党) / 須田こうへい(立憲民主党) / 永田磨梨奈(自民党) / 榊晴太郎(自民党)
	指定都市議会	風間麻美(立憲民主党) / 黒川勝(自民党)
	市区町村議会	石川麻央(自民党)
静岡	国会	田中健(国民民主党)
	指定都市議会	長沼滋雄(立憲民主党) / 松谷清(無所属) / 森田賢児(無所属)
	市区町村議会	石井真人(無所属)
愛知	国会	大西健介(立憲民主党)
	都道府県議会	井上慎也(無所属) / 河合洋介(立憲民主党) / 富田昭雄(国民民主党) / 南部文宏(自民党) / 福田喜夫(国民民主党)
	指定都市議会	岩本たかひろ(自民党) / 大島英勲(日本維新の会) / 神ひろし(自民党) / くずや利枝(自民党)
	市区町村議会	池田耕介(自民党) / 白井えり子(無所属) / 藤田裕喜(自民党) / 舟橋よしえ(無所属) / 三田真弥(日本維新の会) / 毛利尚義(日本維新の会) / 諸岡英実(立憲民主党) / 山田久美(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人アスクネット / 特定非営利活動法人子育て支援のNPO団体まめっこ / 特定非営利活動法人こどもNPO団体 / 特定非営利活動法人シェイクハンズ / 認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード
三重	都道府県議会	長屋光征(自民党)
	市区町村議会	足立淑絵(自民党) / 岩脇圭一(立憲民主党) / 平野貴之(自民党) / 森遥香(無所属) / 保田勝平(自民党) / 和田直也(自民党)

54期全国受入議員・機関・団体一覧③

※()内は受入当時のもの

新潟	指定都市議会	伊藤健太郎(自民党) / 内山航(自民党) / 小野照子(自民党) / 小柳聡(無所属) / 高橋聡子(立憲民主党) / 東村里恵子(無所属) / 深谷成信(日本維新の会)
	NPO団体	特定非営利活動法人Lily & Marry'S / 特定非営利活動法人スペースBe 新大前店 / 特定非営利活動法人身寄りなし問題研究会
石川	国会	小森卓郎(自民党)
	都道府県議会	車幸弘(自民党)
	市区町村議会	宇矛裕基(自民党) / 金岡貴裕(自民党) / 川島美和(立憲民主党) / 高務淳弘(参政党)
福井	国会	波多野翼(立憲民主党)
	都道府県議会	中村綾菜(無所属) / 山岸充(無所属)
	市区町村議会	後藤寿和(無所属) / 西野有香(無所属) / 林豊夏(無所属) / 三上寛了(無所属)
関西	国会	泉健太(立憲民主党) / 前原誠司(日本維新の会) / 森山浩行(立憲民主党)
	都道府県議会	青山暁(日本維新の会) / 河井昭成(国民民主党) / 河村浩史(日本維新の会) / 須田旭(自民党) / 竹内紗耶(日本維新の会) / 中田慎也(自民党) / 西條利洋(日本維新の会) / 西野弘一(無所属) / 野々上愛(立憲民主党) / 道端俊彦(自民党)
	指定都市議会	あわはら富夫(無所属) / 諫山大介(無所属) / 宇佐美賢一(日本維新の会) / 江村理紗(無所属) / かじ幸夫(立憲民主党) / 片桐直哉(無所属) / 河村諒(無所属) / 西哲史(無所属) / 洲上猛志(無所属)
	市区町村議会	市橋拓(無所属) / 今泉ゆうた(日本維新の会) / 駒田かすみ(無所属) / たかのしん(無所属) / 田中正剛(自民党) / 富田達也(無所属) / 中山ゆうすけ(日本維新の会) / 前田しゅうじ(日本維新の会) / 森本信之(立憲民主党) / 山口克浩(無所属)
	NPO団体	一般社団法人フリンジシアターアソシエーション / 公益財団法人大阪国際交流センター / 公益財団法人地球環境センター / 公益社団法人アジア協会アジア友の会 / 特定非営利活動法人Co.to.hana / 特定非営利活動法人CPAO / 特定非営利活動法人Deep People / 特定非営利活動法人green grass / 特定非営利活動法人KEY / 特定非営利活動法人Reframe / 特定非営利活動法人Sports Kids Station / 特定非営利活動法人YASUほほえみクラブ / 特定非営利活動法人愛のまちエコ倶楽部 / 特定非営利活動法人明日の京都 文化遺産プラットフォーム / 特定非営利活動法人アンダンテ農園 / 特定非営利活動法人イー・ビーイング / 特定非営利活動法人いごっそう / 特定非営利活動法人うだ夢創の里 / 特定非営利活動法人おくちのけんこう / 特定非営利活動法人音の風 / 特定非営利活動法人おひさまひろば / 特定非営利活動法人学遊 / 特定非営利活動法人気候ネットワーク 京都事務所 / 特定非営利活動法人木野環境 / 特定非営利活動法人京都子育てネットワーク / 特定非営利活動法人グローアップ / 特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ / 特定非営利活動法人こころのはな / 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都(京都消団連) / 特定非営利活動法人志塾フリースクールラシーナ / 特定非営利活動法人市民活動サークルえん / 特定非営利活動法人しみん基金・こうべ / 特定非営利活動法人青少年自立援助センターブルーム / 特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所ecotone / 特定非営利活動法人電線のない街づくり支援ネットワーク 大阪本部 / 特定非営利活動法人奈良地域の学び推進機構 / 特定非営利活動法人ハーモニーきょうと / 特定非営利活動法人場とつながりの研究センター / 特定非営利活動法人ひととひと / 特定非営利活動法人びよびよ会 / 特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議 / 特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター / 特定非営利活動法人琵琶湖ローイングCLUB / 特定非営利活動法人フォロ / 特定非営利活動法人北摂こども文化協会 / 特定非営利活動法人ゆに / 特定非営利活動法人レイバス 松原本校 / 特定非営利活動法人ロジカ・アカデミー / 特定非営利活動法人わかやまNPO団体センター / 認定特定非営利活動法人加茂女 / 認定特定非営利活動法人くさつ未来プロジェクト / 認定特定非営利活動法人出発(たびだち)のなかまの会 / 認定特定非営利活動法人トゥギャザー / 認定特定非営利活動法人びわこ豊穡の郷
	グローバル	在大阪フィリピン総領事館
岡山	国会	柚木道義(立憲民主党)
	指定都市議会	安東真理(自民党) / 川上智美(立憲民主党) / 森山幸治(立憲民主党)
	市区町村議会	中西公仁(無所属) / 藤井昭佐(無所属)

54期全国受入議員・機関・団体一覧 ④

※()内は受入当時のもの

広島	国会	新谷正義(自民党) / 森本真治(立憲民主党)
	都道府県議会	恵飛須圭二(自民党) / 柿本忠則(立憲民主党) / 桑木良典(無所属) / 高田稔(無所属) / 鷹廣純(立憲民主党) / 福知基弘(無所属) / 村上栄二(無所属)
	指定都市議会	石川さおり(無所属)
	市区町村議会	今田佳男(無所属) / 岩崎和仁(無所属) / 大田祐介(無所属) / 喜田紘平(無所属) / 木村輝江(無所属) / 木村素子(無所属) / 正田洋一(無所属) / 鈴木英士(無所属) / 鍋島勢理(無所属) / 村上真以(無所属) / 森川亜紀(無所属) / 山田学(参政党) / 吉屋智晴(無所属)
	NPO団体	一般社団法人国連ユニタール協会 / 特定非営利活動法人あいびい / 特定非営利活動法人アニマルセラピー協会 / 特定非営利活動法人尾道空き家再生プロジェクト / 特定非営利活動法人こどもステーション / 特定非営利活動法人これからの学びネットワーク / 特定非営利活動法人地域福祉活動支援協会人間大好き
香川	都道府県議会	植田真紀(無所属) / 山本悟史(国民民主党)
	市区町村議会	大西哲也(無所属) / 田村充(無所属) / 米田優(国民民主党)
	NPO団体	公益財団法人オイスカ 四国支部 / 特定非営利活動法人アーキベラゴ
福岡	国会	鬼木誠(自民党)
	都道府県議会	青木一功(自民党) / 原中誠志(立憲民主党)
	指定都市議会	井上麻衣(立憲民主党) / 田中しんすけ(立憲民主党) / 田中崇史(立憲民主党) / 淀川幸二郎(自民党)
	NPO団体	公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・福岡 / 社会福祉法人福岡障害者支援センター / 特定非営利活動法人NGO福岡ネットワーク
北九州	国会	城井崇(立憲民主党)
	都道府県議会	川端耕一(自民党)
	指定都市議会	井上真吾(無所属) / 大久保無我(国民民主党) / 奥村直樹(無所属) / 戸町武弘(自民党) / 吉田幸正(自民党)
	市区町村議会	伊場勇(自民党) / 上野崇之(立憲民主党) / 古豊和恵(自民党)
	NPO団体	特定非営利活動法人nest/ 特定非営利活動法人Scuola dei Bambini / 特定非営利活動法人サンシャインフォーラム福岡 / 特定非営利活動法人下関子ども・子育てネット / 特定非営利活動法人シュタイナー&モンテッソーリー・アカデミー / 特定非営利活動法人光楽園 / 特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン / 特定非営利活動法人門司赤煉瓦倶楽部 / 特定非営利活動法人わくわく
大分	都道府県議会	麻生栄作(自民党) / 首藤健二郎(自民党) / 福岡智幸(国民民主党)
	市区町村議会	泉武弘(無所属) / 松川章三(自民党)
	NPO団体	特定非営利活動法人SAVASPORTS CLUB / 特定非営利活動法人わいわい夢くらぶ / 認定特定非営利活動法人地域の宝育成支援センター
長崎	国会	山本啓介(自民党)
	都道府県議会	浅田眞澄美(自民党) / 白川鮎美(立憲民主党) / 虎島泰洋(自民党) / 山村健志(自民党)
	市区町村議会	青山昭広(無所属) / 浅田真五(自民党) / 安部都(立憲民主党) / 柿田正(自民党) / 澤勢瑞城(自民党) / 平たけし(無所属) / 高橋佳子(無所属) / 田山藤丸(自民党) / 都留康敏(無所属) / 中山大(国民民主党) / 森恭平(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人環境カウンセリング協会長崎 / 特定非営利活動法人元気っ子クラブ ファイト / 特定非営利活動法人心澄 / 特定非営利活動法人ラポール諫早

54期全国受入議員・機関・団体一覧⑤

※()内は受入当時のもの

熊本	都道府県議会	岩田智子(無所属) / 杉嶋ミカ(自民党) / 立山大二郎(自民党) / 南部隼平(自民党) / 溝口幸治(自民党)
	指定都市議会	井坂隆寛(日本維新の会) / 瀬尾誠一(無所属) / 田中敦朗(自民党) / 筑紫るみ子(無所属) / 山中惣一郎(無所属)
	市区町村議会	今中真之助(無所属) / 澤田雄二(無所属) / 中元緑(無所属) / 橋本貴喜(自民党) / 山本敬晃(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人NCK / 特定非営利活動法人NPO団体こどもサポート・みんなのうちに / 特定非営利活動法人RyuSun / 特定非営利活動法人えん / 特定非営利活動法人熊本福祉会 / 特定非営利活動法人くまもと未来ネット / 特定非営利活動法人子育て支援ワーカーズベベベべらん / 特定非営利活動法人子育て談話室 / 特定非営利活動法人子育ての森 / 特定非営利活動法人在宅就労支援事業団 / 特定非営利活動法人桜木ふれあいスポーツクラブ / 特定非営利活動法人スポレク・エイト / 特定非営利活動法人でんでん虫の会 / 特定非営利活動法人ひかるつめくさ / 特定非営利活動法人みらいけあ / 特定非営利活動法人もやいの丘
宮崎	国会	渡辺創(立憲民主党)
	都道府県議会	岩切達哉(立憲民主党) / 内田理佐(自民党) / 川添博(自民党) / 日高陽一(自民党) / 二見康之(自民党) / 本田利弘(自民党) / 山内いっとく(自民党) / 山口俊樹(自民党) / 脇谷のりこ(無所属)
	市区町村議会	黒田奈々(立憲民主党) / 持原将之(無所属) / 鈴木かずえ(自民党) / 時任砂織(自民党) / 徳重淳一(立憲民主党) / 中村鉄兵(自民党) / 羽田野徳寿(立憲民主党) / 三輪邦彦(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人iさいと / 特定非営利活動法人Swing-By / 特定非営利活動法人のびーの宮崎 / 特定非営利活動法人みやざき男女共同参画推進機構 / 特定非営利活動法人ライフカンパニー新富 / 認定特定非営利活動法人高鍋町観光協会
鹿児島	都道府県議会	秋丸健一郎(無所属) / 伊藤浩樹(自民党) / 岩重礼(自民党) / 宇都恵子(立憲民主党) / 小川みさ子(無所属) / 上山貞茂(無所属) / 柴立鉄平(自民党) / 宝来良治(自民党)
	NPO団体	特定非営利活動法人あまみ紬人 / 特定非営利活動法人あんじゅりあん / 特定非営利活動法人エコサポートTGAL / 特定非営利活動法人桜島ミュージアム / 特定非営利活動法人チャトン / 認定特定非営利活動法人かごしまアートネットワーク
沖縄	市区町村議会	嵩元直萌(無所属) / 比嘉啓登(無所属)

協力大学一覧

議員インターンシップの普及促進のために、各地の大学にご協力をいただいております。

協力形態説明

- ・単位認定 認定に手続きについては、直接大学にお問い合わせください。
- ・告知 ビラ配布許可、ポスター掲示許可、授業での告知協力など。

【単位認定】

●北海道

北海学園大学 法学部
札幌学院大学 法学部
小樽商科大学

●関東

國學院大学 法学部
法律学科政治専攻
東洋学園大学 キャリアセンター
※単位認定講座にて紹介

●関西

関西学院大学 法学部
大和大学 社会学部 政治経済学部

●中国

広島大学 法学部
広島市立大学 キャリアセンター

●福岡

九州産業大学 商学部

【告知協力】

●北海道

北海学園大学 法学部
小樽商科大学
北海学園大学
北海道大学

●関東

東洋学園大学 キャリアセンター
目白大学 メディア学部
目白大学 短期大学部 ビジネス社会学科

●関西

関西学院大学 法学部

●中国

広島大学 法学部
福山市立大学 都市経営学部



未来事業

『日本が終わってるなんて誰が決めた』

未来事業として「未来自治体」と「未来国会」を運営しています。

「未来国会」は『もし自分が総理大臣だったら国家予算をどのように作るか』、

「未来自治体」は『もし自分が首長だったら自治体予算をどのように作るか』というテーマで、
時代を担う若者（主に大学生）が未来の国家や街のビジョンを掲げ、

それを政策・予算にまで落とし込み、

「若者らしい斬新かつ、現実性を備えた夢」をコンテスト形式で競い合う提案型プログラムです。

国家予算をあなたがつくる。

未来国会

若者による国家デザインコンテスト

地域の未来をあなたがつくる。

未来自治体

若者による自治体デザインコンテスト

jp
japan produce

未来自治体全国大会2025

未来自治体
全国大会2025

■開催概要

- ・ 催事名 : 未来自治体全国大会2025
- ・ 開催期間 : 2025年2月～3月
- ・ エントリー : 30歳以下の若者約1000名/400チーム
- ・ 開催場所 : 全国決勝大会は国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟
レセプションホールにて対面開催
- ・ 観覧者 : 観覧者約400名



大空幸星氏
衆議院議員
自由民主党 青年局学生部長



小川淳也氏
衆議院議員
立憲民主党 党幹事長



与良正男氏
政治ジャーナリスト
毎日新聞客員編集委員
NPO法人ドットジェイビー
特別顧問



田幸大輔氏
政策分析ネットワーク事務局長/
政策メディア編集長

■後援



総務省



法務省

文部科学省

文部科学省



厚生労働省

農林水産省

農林水産省



経済産業省



環境省

こどもまんなか
こども家庭庁

こども家庭庁

未来自治体全国大会2025

未来自治体 全国大会2025

■未来自治体全国大会2025 優勝 【大阪大会選出 チーム中田飯店】 プラン2-4

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかはてん)

問題①

1. 30年後の理想の街を実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしましょう。

「子どもにとって良いサービスが行われにくい」

2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。

問題発生原因①

人々(特に子どもたち)の多様なニーズに応えられていないこと。

【原因①に係る根拠】

- ・**セーブ・ザ・チルドレンの調査**にて、行政に意見が言える若者は約3割と判明。
※参考 [savethechildren.or.jp/news/publications/downloads/kodomonoke_matsuna202111.pdf](https://www.savethechildren.or.jp/news/publications/downloads/kodomonoke_matsuna202111.pdf)
- ・**内閣府の調査**にて、国の政策に民意が反映されているとする学生は2割未満と判明。
※参考 <https://survey.gov-online.go.jp/202501105106-shakaiganyaku.pdf>

問題発生原因②

若年層の投票率が低く、子どもの声が行政に届きづらいこと。

【原因②に係る根拠】

- ・**総務省の調査**にて、若年投票率が低額として低いことが判明。
※参考 https://www.soumu.go.jp/main/yosenkyo_shines/souda/hendabetu/
- ・**日本財団の調査**によると、日本の若者は政治参画への意識が低いことが判明。
※参考 nippon-foundation.or.jp/wp-content/uploads/2022/03/new_pr_20220323_03.pdf

問題発生原因③

将来にわたって持続可能なサービスが維持できないこと。

【原因③に係る根拠】

- ・**日本都市計画学会の調査**にて、日常サービスが人口減にともない減少する可能性がある と判明。
※参考 https://www.jspe-jst.go.jp/article/journal/pj55/55_5/55_5131.pdf

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかはてん)

打ち手1

認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の3つの視点で、問題①(P4)の解決のために、何をすべきか書いてみましょう。

問題①: 好きなことがわからない、できないという子どもが多い

認知拡大

1. 好きなことを見つける機会を増やす(無料体験制度、放課後クラブ)

2. 好きなことを続けられる仕組み(フンド、応援バス)

3. 学校教育に「自己探究の時間」を組み込む

4. 大人の意識改革(親の価値観・企業の関わり)

支援活動

1. 企業による職業・趣味体験イベント やサブスクサービス

2. 個人によるメンタープログラム やスキルシェア

3. 「好きなことチャレンジ基金」などの資金支援

4. 学校外プログラムの拡充(オルタナティブスクール)

根治予防

1. 幼少期から多様な体験を提供 する義務化

2. 親の教育を改革し、子どもの好奇心を応援する仕組み を作る

3. 学校教育の柔軟化(探究学習・学校外学習の単位化)

4. 「好きなことに挑戦する文化」を社会全体で醸成する

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかはてん)

打ち手2

認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の3つの視点で、問題②(P5)の解決のために、何をすべきか書いてみましょう。

問題②: 子どもの間で格差が広がっている

認知拡大

1. データを活用して格差問題を可視化(白書・マップ・SNS発信)

2. メディア・SNSを活用し、社会全体で認識を広める

3. 企業・自治体が具体的なアクションを起こせる仕組み を作る

4. 子ども自身が参加し、社会に働きかける場を提供する

支援活動

1. 教育格差の解消(無料オンライン塾・奨学金・習い事支援)

2. 生活支援の拡充(企業スポンサー型子ども食堂・寄付型サブスク)

3. デジタル技術活用(Wi-Fi・タブレット支援・AI支援制度マッチング)

4. 体験の機会提供(無料イベント・旅行・文化活動)

根治予防

1. 公平なスタートラインを整備(幼児教育の無償化・学びの機会提供)

2. 親世代の経済支援・就労支援(最低限の生活保障・リスクキリング)

3. 次世代型教育の導入(探究学習・STEAM教育・教育DX)

4. 地域ぐるみのサポート体制(コミュニティスクール・こども議会)

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかはてん)

打ち手3

認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の3つの視点で、問題③(P6)の解決のために、何をすべきか書いてみましょう。

問題③: 子どもの間で格差が広がっている

認知拡大

1. 白書発行や声の可視化、自治体・企業ランキング公表で情報発信を強化

2. アワード開催やCSR強化、自治体施策指標化で働きかけ

3. 応援策一制度やWS、クラファン基金で市民の意識向上を推進

支援活動

1. サブスクや無料教育、DX支援、職業体験で企業の子ども支援を推進

2. メンター制度や声の可視化、学びのクラファン でNPO・個人活動を支援

3. 企業認証やAI支援最適化、子ども向けフィンテックで制度を整備

根治予防

1. 子ども議会やモニター制度、評価システムで意思決定に関与

2. 税制優遇やファンド創設、CSR義務化で企業の子どもの支援を促進

3. 未来日やドネーション、地域連携で社会全体で子どもを支援

4. 基本法や国家基準、財源確保 で長期的な子ども投資を促進

未来自治体全国大会2025

未来自治体 全国大会2025

■未来自治体全国大会2025 優勝 【大阪大会選出 チーム中田飯店】 プラン3-4

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかつはてん)

重点政策1

究極の未来探究アカデミー

認知拡大・支援活動・根拠予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させよう。

目的 AIやメタバースを活用し、子どもの可能性を引き出します。

対象 小学生～高校生(7～18歳)・「夢」が見つからない、または実現する機会がない子どもたち

主体 多様な主体(国・地方自治体・学校・企業・NPO)が協力し、学びと支援環境を整備。

期間 2035年から実証開始、2045年以降に本格導入へ。

政策内容

- 1] AIキャリアナビ「夢探しbotくん」**

A. タブレットでAIキャリアナビに日々の出来事を音声入力します。

B. データを基にAIが興味や適性を分析し、おすすめ習い事を提案します。

C. 未来の自分をシミュレーションし、キャリアを描く手助けをします。
- 2] メタバースメリアル体験型ラボ**

A. 放課後の学校を「未来研究所」に改装し、VR装置を導入します。

B. メタバースで世界中の人と共同学習を行います。

C. 3Dや音楽などの創造的なものづくり空間を設けます。
- 3] みんなで夢探しプロジェクト**

A. 企業や大学と協力し、社会課題解決に挑む学習を提供します。

B. 環境問題解決や新技術開発のプロジェクトを行います。

C. 次世代エンタメの創造に向けた学びの場を作ります。

懸念点と対策

1. 参加しない子がいられる可能性がある。⇒ 遊びの要素や友達と気軽に参加できる仕組みを導入する。
2. 現場の反対や関係者の協力が得られない。⇒ 負担軽減策を導入し、メリットを共有して巻き込む。

社会的インパクト(政策の効果)

政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましよう。
 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(未来展望)書きましよう。
 例: 政策によって、教育の機会がより公平になる。(「ゲーム」や「プログラミング」授業の実施が学習意欲の向上を促す。自然と学びたいという意識)

1. 子どもたちが「やりたいこと」を見つける機会が増える。
2. 教育格差を是正し、誰もが夢を追える社会を目指す。
3. 未来社会に対応できる新たな人材育成ができる。
4. 学校施設の有効活用と地域活性化につながる。

放課後の学校を「未来への出発点」にする新政策。2035年、未来の子どもたちに「夢と可能性」を届けます。

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかつはてん)

重点政策2

スマイルセーフティーネットワーク

認知拡大・支援活動・根拠予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させよう。

目的 2035年までに技術を活用し、貧困格差をなくして全ての子どもに最高の衣食住教育を提供する。

対象 乳児～高校生(0～18歳)・低所得家庭、ひとり親家庭、児童養護施設の子どものたちが主な対象

主体 多様な主体(国・地方自治体・学校・企業・NPO・市民団体)が協力し、支援環境を整備。

期間 2036年から実証開始、2045年以降に本格導入へ。

政策内容

- 1] 「優食(ゆうしょく)」お届け隊**

A. 食品ロスを活用し、食のセーフティネット構築。

B. 余剰食品をリアルタイム管理し未来探索ラボへ提供

C. 学校給食に加え「優食」で子どもの食生活支援。
- 2] AI先生真剣ゼミ**

A. AI教師が個別指導し、学習の遅れを解消します。

B. タブレットやVR活用で最適な学びを提供します。

C. 収入格差なく、全ての子どもに質の高い教育を提供します。

懸念点と対策

1. 食品の安全性の確保⇒品質基準を設定し、デジタル管理と定期検査で安全性を維持する。
2. 受け取りの心理的ハードルが高い。⇒誰でも利用できる地域食堂を設置し、イベントと組み合わせで解消。
3. 配送・提供の持続性 ⇒ マッチングシステムを導入し、ボランティアや宅配企業と連携して運営する。
4. 学習意欲の低下 ⇒ AIと人間の先生を併用し、ゲーム型学習やピアラーニングを推進する。

社会的インパクト(政策の効果)

政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましよう。
 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(未来展望)書きましよう。
 例: 政策によって、貧困の連鎖が断ち切られる。(「ゲーム」や「プログラミング」授業の実施が学習意欲の向上を促す。自然と学びたいという意識)

1. すべての子どもたちに「安心できる食」を届け、成長を支援する。
2. AI教育を活用し、誰もが平等に学べる環境を実現する。
3. 次世代教育を活用し、未来社会に対応できる人材を育成する。
4. 食品ロス削減や地域支援を通じ、持続可能な社会の構築に貢献する。

平等な機会、安心して学べる未来を届ける新政策。2035年、未来の子どもたちに「夢と可能性」を届けます。

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかつはてん)

重点政策3

AI City構想

認知拡大・支援活動・根拠予防の解決策(打ち手)より、政策にできるものをさらに深め、政策に発展させよう。

目的 2035年に向けて、AIの技術で公平な行政サービスと子どもの意見を反映する社会を実現します。

対象 全住民(特に子ども・高齢者・低所得世帯)、政策決定への参加が難しい子ども(0～18歳)

主体 多様な主体(政府・地方自治体・民間・大学・研究機関・NPO)が協力し、環境を整備。

期間 2036年から実証開始、2045年以降に本格導入へ。技術進化に合わせて段階的に実施する。

政策内容

- 1] AI市役所**

A. AIとビッグデータで24時間利用可能な行政サービスを提供する。

B. AIチャットボットが住民のオンライン申請や問い合わせをサポート。

C. AIが災害支援や貧困リスクを予測し、職員は高度な業務に専念する。
- 2] AI市議会議員**

A. 子どもや若者の意見を反映させるためAI市議会議員を導入する。

B. AIが予算の最適化をし、市民参加型の「AI予算会議」を実施する。

C. 議会の発言をAIが記録、分析し、政策の一貫性を保つ。

懸念点と対策

1. 市民の間でデジタル格差が生じる。⇒ 窓口対応を維持し、デジタル講習を実施。
2. 個人情報保護 が危惧される。⇒ 最新の暗号化技術と定期監査を導入。
3. AIの判断の透明性 が確保されない。⇒ 判断基準を公開し、最終判断は人が行う。
4. 意思決定の偏り が生じる。⇒ 多様なデータを学習し、最終決定は人間が担当。
5. 子どもの意見の実効性 が不明瞭である。⇒ 市議会への報告を義務化し、子ども向け予算を確保。
6. AIの倫理・法整備 がまだ不足している。⇒ AIは「提案・分析」に限定し、適正なルールを策定。

社会的インパクト(政策の効果)

政策を実施することによる効果(社会的インパクト)を書きましよう。
 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(未来展望)書きましよう。
 例: 政策によって、政治の透明性が向上する。(「ゲーム」や「プログラミング」授業の実施が学習意欲の向上を促す。自然と学びたいという意識)

1. 人件費の大幅な削減ができ、他の政策に費用をかけられる。
2. ストレスフリーな市政運営ができる。
3. 地域住民が納得のいく政治が作れるようになる。
4. 若年層が積極的に政治に関わるようになる。

AIを活用した町づくりを行う新政策。2035年、未来の子どもたちに「夢と可能性」を届けます。

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかつはてん)

ロードマップ

ロードマップは問題解決までの道筋を示したものです。
 本シートのP7～P9で選出した問題への解決策を、実施すべき順番、実施できるタイミングに沿って時系列に並べてみましょう。
 また各打ち手を実施して、10・20・30年後にどのような社会を目指したいか書きましよう。

	問題	問題	問題	各時期の目標
現在	・子どもの間で格差が広がっている	・子どもの間で格差が広がっている	・子どもにとって良いサービスが行われない	・子どもたちの「スキ」ができない状況になっている
10年後	・試験運用	・試験運用	・10年間の試験運用を経て展開の幅を広げる	・掲げた政策の試験運用をしていく
20年後	・本格的な導入開始	・本格的な導入開始	・技術の進化に合わせて、段階的につづきアップグレードしながら実施	・施策の試験運用から、本格的に導入を開始していく
30年後	・進化する技術に合わせて、段階的にアップグレード	・進化する技術に合わせて、段階的にアップグレード	・よりアップグレードしながら、展開する幅を拡大していく	・本格的に導入していきながら、進化していく技術に合わせながら、施策のアップグレードや、展開する幅を広げていく

★最も見たい未来(理想の街)の実現★

未来自治体全国大会2025

未来自治体
全国大会2025

■未来自治体全国大会2025 優勝 【大阪大会選出 チーム中田飯店】 プラン4-4

エリア	チーム名	
大阪エリア	中田飯店(なかつたはんでん)	
予算		
重点政策1:60億円/10年間 ※1年間あたり6億円(政策にかかる費用)		
根拠		
①AIキャリアナビ「夢探しbot君」 AIアプリ開発費:5億円 データ管理・解析インフラ:3億円 タブレット導入(2万台×5万円):10億円 システム維持費(1億円/年×10年):10億円	②メタバース・リアル体験型ラボ VR設置(100台×50万円):5億円 メタバース環境構築:5億円 3Dプリンター・ロボット等の設置費:2億円 専門家・メンター招聘(5000万円/年×10年):5億円	
③企業、大学との共同プロジェクト 研究開発費(0.5億円/年×10年):5億円 生徒・教員支援(1億円/年×10年):5億円		
重点政策2:41億円/10年間 ※1年間あたり4.1億円(政策にかかる費用)		
根拠		
①「優食(ゆうしょく)」お届け隊(約16億円) 食品管理システム開発:2億円 食材回収・配送のインフラ整備:3億円 未来探求ラボでの調理・提供設備:1億円 年間運営費(1年間/年×10年):10億円	②AI先生真剣ゼミ(約29億円) AI学習システム開発:5億円 学習データ管理・運営費(1億円/年×10年):10億円 サポートスタッフ人件費(1億円/年×10年):10億円 ※他にタブレット導入費が必要であるが、政策1に含まれる	
重点政策3:51億円/10年間 ※1年間あたり5.1億円(政策にかかる費用)		
根拠		
①AI市役所(AI行政プラットフォーム)(29億円) オンライン行政サービス開発:10億円 AI災害支援システム:5億円 異国リスパ等知能支援自動化:5億円 AI活用型公務員育成(2億円/年×10年):20億円	②AI市議会議員(デジタル民主主義システム)(約22億円) AI予算最適化システム:5億円 子供AI市議会プラットフォーム:3億円 AIによる議会運営透明化システム:3億円	
重点政策3つの総予算:152億円(10年間)※1年間で15.2億円必要		
変更する歳出項目	いくら変更するか	変更する方法
①AI化による人件費などの削減	約140億円(10年間)で1年間で約14億円の削減	1.公務員人件費削減(5%カット) ⇒約9.3億円/年 2.窓口業務コスト削減(50%効率化) ⇒約1.9億円/年 3.災害対応コスト削減(20%効率化) ⇒約0.8億円/年 4.福祉支援の最適化(5%削減) ⇒約1.3億円/年
②政府による給食無償化導入による削減	約40億円(10年間)で1年間で約4億円の削減	石破内閣の予算方針によると、小・中学校の給食無償化が実現される予定 ⇒伊丹市の予算措置している給食無償化事業は4億円/年。これらが国の財源から賄われることになる。

エリア	チーム名
大阪エリア	中田飯店(なかつたはんでん)
予算による影響と対応	
■予算変更によって起こる悪影響 (誰がどのような不利益を被るか)	
①人員削減により、住民対応が機械的になり、市民の不満が増加	
②教育現場のデジタル偏重により、教師の役割が縮小し、教育の質が低下	
③運営コストが高騰し、他の食育政策が後回しに	
■悪影響への対処策 (不利益を被る個人・世帯・団体・法人への対応策)	
①「AIの判断に納得できない場合は職員に相談できる」体制を確保	
②AIを補助的に活用し、教師の指導や生徒との対話の時間を確保	
③効率的な配送システムを導入し、物流コストを抑える	

14都市、計24回開催

	参加自治体	開催期間	参加者
未来流山市2012	千葉県 流山市	2012年4月7日 ～4月22日	50名
未来奈良市2012	奈良県 奈良市	2012年8月26日 ～11月18日	45名
未来鎌倉市2012	神奈川県 鎌倉市	2012年11月3日 ～12月15日	63名
未来仙台市2012	宮城県 仙台市	2012年11月11日 ～12月16日	40名
未来仙台市2013	宮城県 仙台市	2013年6月2日 ～7月14日	46名
未来仙台市2014	宮城県 仙台市	2013年7月19日 ～終了未定	40名
未来松坂市2013	三重県 松坂市	2013年10月12日 ～12月15日	49名
未来松阪市2014	三重県 松阪市	2014年8月9日 ～10月12日	47名
未来茅ヶ崎市2014	神奈川県 茅ヶ崎市	2014年7月12日 ～8月31日	42名
未来松坂市2015	三重県 松坂市	2015年10月10日 ～12月19日	45名
未来茅ヶ崎市2015	神奈川県 茅ヶ崎市	2015年12月13日 ～2016年3月5日	49名
未来氷見市2015	富山県 氷見市	2016年1月16日 ～2016年3月21日	44名
未来石巻市2016	宮城県 石巻市	2016年7月23日 ～2016年9月25日	32名
未来泉佐野市2017	大阪府 泉佐野市	2017年2月7日 ～2017年3月27日	26名
未来石巻市2017	宮城県 石巻市	2017年7月22日 ～10月29日	80名
未来高松市2017	香川県 高松市	2017年8月20日 ～11月5日	41名
未来茅ヶ崎市2017	神奈川県 茅ヶ崎市	2017年9月10日 ～11月12日	46名
未来湖南市2017	滋賀県 湖南市	2017年9月17日 ～11月19日	42名
未来茅ヶ崎市2018	神奈川県 茅ヶ崎市	2018年9月8日 ～11月11日	34名
未来茨木市2018	大阪府 茨木市	2018年9月24日 ～11月25日	31名
未来木更津市2019	千葉県 木更津市	2019年7月7日 ～9月28日	53名
未来浜松市2019	静岡県 浜松市	2019年8月3日 ～10月5日	51名
未来甲賀市2022	滋賀県 甲賀市	2022年9月14日 ～11月19日	51名
未来甲賀市2023	滋賀県 甲賀市	2023年8月5日 ～10月14日	17名

自治体リーダーシミュレーション

8都市、計8回開催

	参加自治体	開催期間	参加者	大会の様子
習志野市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 習志野市	2013年 3月30日	23名	
笠間市 自治体リーダー シミュレーション	茨城県 笠間市	2013年 8月17日	23名	
鎌倉市 自治体リーダー シミュレーション	神奈川県 鎌倉市	2013年 9月22日	21名	
稲城市 自治体リーダー シミュレーション	東京都 稲城市	2013年 9月27日	25名 (自治体職員のみ)	
上越市 自治体リーダー シミュレーション	新潟県 上越市	2013年 12月8日	28名	
成田市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 成田市	2013年 3月30日	20名	
浦安市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 浦安市	2013年 10月5日	20名	
富山県 自治体リーダー シミュレーション	富山県	2015年 3月1日	48名	

その他の事業・実績など

メディア掲載実績一覧

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

2024年

10月21日

【NHK】衆議院議員選挙「投票所あっちプロジェクト」の様子が放映されました。

10月23日

【FBS福岡放送】衆議院議員選挙「投票所あっちいかねプロジェクト」の様子が放映されました。

10月25日

【共同通信社】衆議院議員選挙「投票所あっちプロジェクト」の様子が掲載されました。

10月25日

【毎日新聞】衆議院議員選挙「投票所あっちどすえプロジェクト」の様子が掲載されました。

10月28日

【産経新聞】衆議院議員選挙「投票所あっちプロジェクト」の様子が掲載されました。

10月28日

【朝日新聞】衆議院議員選挙「投票所あっちっちゃプロジェクト」の様子が掲載されました。

10月28日

【毎日新聞】衆議院議員選挙「投票所あっちっちゃプロジェクト」の様子が掲載されました。

11月22日

【朝日新聞】滋賀県議会の議会改革検討委員会へ出席した様子が掲載されました。

11月25日

【京都新聞】滋賀県議会の議会改革検討委員会へ出席した様子が掲載されました。

11月26日

【中日新聞】三重県四日市市長選「投票所あっちプロジェクト」の様子が掲載されました。

メディア掲載実績一覧

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

2025年

1月17日

【毎日新聞】北九州市議選「模擬投票」の様子が掲載されました。

1月23日

【毎日新聞】北九州市議会議員選挙「投票所あっちっちゃプロジェクト」の様子が掲載されました。

1月27日

【宮崎日日新聞】宮崎支部で実施したキックオフの様子が掲載されました。

2月3日

【広島ニュースTSS】「将来、広島で生活したいか」のアンケート協力について放映されました。

2月19日

【熊本日日新聞】熊本支部で2月20日（木）に実施の合同就職説明会の告知が掲載されました。

2月26日

【宮崎日日新聞】宮崎支部で実施したハーフタイムの様子が掲載されました。

3月3日

【UMKテレビ宮崎】宮崎支部で実施した模擬投票イベントの様子が放映されました。

3月17日

【KKTくまもと県民テレビ】熊本支部で実施した「未来自治体全国大会本大会」の様子が放映されました。

3月17日

【中日新聞】石川支部で実施した「未来自治体全国大会川大会」の様子が掲載されました。

ご協賛企業一覧

ATUホールディングス 株式会社

株式会社 iHistory

株式会社 kakki

合同会社 LC

株式会社 LIA CREATE

株式会社 Misumi

株式会社 ONEDEJIMA

ONE DEJIMA 株式会社

SCSKニアショアシステムズ 株式会社

株式会社 オーガランド

株式会社 緒方建設

株式会社 きらり.コーポレーション

くまもと新世紀 株式会社

熊本赤十字病院

シーラック 株式会社

寿がきや食品 株式会社

株式会社 総合プラント

大熊本証券 株式会社

株式会社 寺原自動車学校

株式会社 ビーオルグ

不二精機 株式会社

株式会社 ペイロール

三菱重工マリンマシナリ 株式会社

株式会社 ヤングリゾート

株式会社 夢現

ワンページ 株式会社

※社名50音順

ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

書籍関連

【市議会議員になる方法】

著者：佐藤大吾

協力：NPO法人ドットジェイビー

発行：ダイヤモンド社

地方議員は職業のひとつ。

選挙は就職活動だ！

社会企業化を目指す人、地元をよくしたい人、
『議員』という選択肢だってある！

地域から日本を変える仕事に就く！

第1章 市議会議員になるのは無謀な挑戦じゃない！

第2章 出馬を決意したらさっそく活動開始！

第3章 いよいよ決戦の時！選挙戦スタート！

第4章 若手議員・市長にインタビュー

選挙と議員生活の実際



【(当)タネダミキオでございます。】 [全3巻]

漫画：塚脇永久

監修協力：佐藤大吾

発行：株式会社新潮社

色々悩んでる読者の皆様(25歳以上)へ

次の選択肢は「政治家」でいいんじゃない?!

カネなし、学歴なし、コネなし。

世間と自分に苛立ちと不満ばかりを持つ青年が

成り行き上イキナリ選挙に立候補!?

この漫画を読めば、次の選挙に出たくなる。

そして自分と世界を変えたいくなる!!

ドットジェイビーは本作品に監修協力しています。



【オモシロキコトモナキ世ヲオモシロク】

プロデュース：高橋歩&佐藤大吾

監修：NPO法人ドットジェイビー

発行・発売：サンクチュアリ出版

○リアル&スピリッツ。

政治のリアルな現状を、ビジュアルと言葉で伝えます。

○未来の日本へのメッセージ。

20代、30代前半の現役バリバリで活躍している政治家たちを紹介。

○「カネなし、コネなし、20代、地方選挙、無所属、初挑戦」のための選挙徹底マニュアル。

○コミックガイド。

厳選したイラストと名セリフを魅せる最強のコミックガイド。





若者と政治を結ぶ
N P O 法人 ドット ジェイ ピー

URL : <https://www.dot-jp.or.jp>